

出雲商工会議所管内 業種別景況（令和5年4月～6月期）

《全 業 種》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期（令和4年4～6月）と比べた 今期（令和5年4～6月）の状況				前期（令和5年1～3月）と比べた 今期（令和5年4～6月）の状況				今期（令和5年4～6月）と比べた 来期（令和5年7～9月）の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	49.2	25.4	25.4	23.7	40.7	32.2	27.1	13.6	33.3	38.6	28.1	5.3
2 採 算	31.6	43.9	24.6	7.0	22.4	46.6	31.0	△ 8.6	29.3	43.1	27.6	1.7
3 仕 入 単 価	79.7	16.9	3.4	76.3	71.2	27.1	1.7	69.5	60.3	39.7	0.0	60.3
4 従 業 員 数					10.5	77.2	12.3	△ 1.8	1.8	93.0	5.3	△ 3.5
5 資 金 繰 り					15.8	70.2	14.0	1.8	13.8	67.2	19.0	△ 5.2

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		22.4	50.0	27.6		-5.2		24.1	58.6		19.0	5.2		3.4

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	22.6	8.1	6.5	37.1	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	4.8	3.2	14.5	22.6
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	0.0	3.2	6.5	9.7	9 取 引 条 件 の 悪 化	0.0	0.0	3.2	3.2
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	0.0	3.2	0.0	3.2	10 事 業 資 金 の 確 保 難	4.8	4.8	4.8	14.5
4 原 材 料 高 及 び 不 足	33.9	24.2	6.5	64.5	11 需 要 の 停 滞	9.7	11.3	8.1	29.0
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	1.6	3.2	3.2	8.1	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	0.0	3.2	3.2
6 人 手 不 足	9.7	3.2	8.1	21.0	13 そ の 他	4.8	3.2	1.6	9.7
7 人 件 費 の 増 加	1.6	12.9	8.1	22.6	無 回 答	6.5	19.4	25.8	—

注) 「全体」=（1位+2位+3位を選んだ回答数）/全回答数

《 製 造 業 》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期（令和4年4～6月）と比べた 今期（令和5年4～6月）の状況				前期（令和5年1～3月）と比べた 今期（令和5年4～6月）の状況				今期（令和5年4～6月）と比べた 来期（令和5年7～9月）の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	55.6	11.1	33.3	22.2	33.3	11.1	55.6	△ 22.2	22.2	33.3	44.4	△ 22.2
2 採 算	55.6	11.1	33.3	22.2	22.2	44.4	33.3	△ 11.1	22.2	44.4	33.3	△ 11.1
3 仕 入 単 価	88.9	0.0	11.1	77.8	66.7	22.2	11.1	55.6	75.0	25.0	0.0	75.0
4 従 業 員 数					11.1	66.7	22.2	△ 11.1	0.0	100.0	0.0	0.0
5 資 金 繰 り					11.1	66.7	22.2	△ 11.1	11.1	55.6	33.3	△ 22.2

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D・I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		11.1	66.7	22.2		△ 11.1		11.1	66.7		22.2	△ 11.1		0.0

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	0.0	11.1	11.1	22.2	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	0.0	0.0	44.4	44.4
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	0.0	11.1	0.0	11.1	9 取 引 条 件 の 悪 化	0.0	0.0	11.1	11.1
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事 業 資 金 の 確 保 難	11.1	0.0	11.1	22.2
4 原 材 料 高 及 び 不 足	33.3	44.4	0.0	77.8	11 需 要 の 停 滞	33.3	11.1	0.0	44.4
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	0.0	11.1	11.1
6 人 手 不 足	11.1	0.0	0.0	11.1	13 そ の 他	11.1	11.1	11.1	33.3
7 人 件 費 の 増 加	0.0	11.1	0.0	11.1	無 回 答	0.0	0.0	0.0	—

注) 「全体」 = (1位 + 2位 + 3位を選んだ回答数) / 全回答数

3、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 猛暑が需要に与える影響が心配。 ・ 仕入資金不足。 ・ 製造の人手不足。 ・ GWが観光が回復し忙しかったが、夏のイベントは猛暑が影響。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ コロナの規制緩和進み受注が増え始めたが、今後また規制強化され停滞することを懸念。 ・ 原材料高により値上げしているが、採算とれるまでには不足。 ・ 新商品開発やSNSを活用したPRにより新規顧客の獲得に少しずつでも繋がっている。 ・ 自動車業界の半導体不足によるタイヤ業界の影響は2023年下半期には解消される見込み。 |
|---|--|

《建設業》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期（令和4年4～6月）と比べた 今期（令和5年4～6月）の状況				前期（令和5年1～3月）と比べた 今期（令和5年4～6月）の状況				今期（令和5年4～6月）と比べた 来期（令和5年7～9月）の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	12.5	50.0	37.5	△ 25.0	25.0	75.0	0.0	25.0	25.0	50.0	25.0	0.0
2 採算	14.3	42.9	42.9	△ 28.6	25.0	50.0	25.0	0.0	37.5	50.0	12.5	25.0
3 仕入単価	87.5	12.5	0.0	87.5	75.0	25.0	0.0	75.0	50.0	50.0	0.0	50.0
4 従業員数	/	/	/	/	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	87.5	12.5	△ 12.5
5 資金繰り	/	/	/	/	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		12.5	62.5	25.0		△ 12.5		25.0	62.5		12.5	12.5		0.0

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売上・受注の減少	25.0	0.0	12.5	37.5	8 設備店舗の狭小・老朽化	0.0	0.0	0.0	0.0
2 大企業進出による競争激化	0.0	0.0	12.5	12.5	9 取引条件の悪化	0.0	0.0	0.0	0.0
3 製品・商品単価の下落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事業資金の確保難	0.0	0.0	0.0	0.0
4 原材料高及び不足	37.5	37.5	12.5	87.5	11 需要の停滞	12.5	0.0	12.5	25.0
5 在庫製品・商品の過剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円相場に伴う経営への影響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人手不足	25.0	12.5	25.0	62.5	13 その他	0.0	0.0	0.0	0.0
7 人件費の増加	0.0	25.0	0.0	25.0	無回答	0.0	25.0	25.0	—

注) 「全体」= (1位+2位+3位を選んだ回答数) / 全回答数

3、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・職人の高齢化と人手不足。繁忙期の差が激しい。 ・新築等での瓦採用が少ない。 ・需要はあっても高齢化により無理な受注が出来ない。 ・物価上昇に労務単価が追いついていない | <ul style="list-style-type: none"> ・建設業の若手の担い手不足、人手不足。 ・電気通信業界は県内では不況感。 ・材料の値上げにより予算内に納まらないことが多くなり、今後単価の安い材料を使用し、予算に見合う提案をする |
|---|---|

《卸 ・ 小 売 業》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況 (前年同期と前期との比較)								II 来期の見通し			
	前年同期(令和4年4~6月)と比べた 今期(令和5年4~6月)の状況				前期(令和5年1~3月)と比べた 今期(令和5年4~6月)の状況				今期(令和5年4~6月)と比べた 来期(令和5年7~9月)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	38.9	27.8	33.3	5.6	44.4	27.8	27.8	16.7	18.8	43.8	37.5	△ 18.8
2 採 算	17.6	52.9	29.4	△ 11.8	11.8	52.9	35.3	△ 23.5	17.6	47.1	35.3	△ 17.6
3 仕 入 単 価	66.7	27.8	5.6	61.1	66.7	33.3	0.0	66.7	55.6	44.4	0.0	55.6
4 従 業 員 数	/	/	/	/	0.0	83.3	16.7	△ 16.7	0.0	94.4	5.6	△ 5.6
5 資 金 繰 り	/	/	/	/	16.7	66.7	16.7	0.0	11.1	77.8	11.1	0.0

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I (業況判断指数)とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		22.2	44.4	33.3		-11.1		16.7	61.1		22.2	-5.6		0.0

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	26.3	5.3	5.3	36.8	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	10.5	10.5	0.0	21.1
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	0.0	0.0	10.5	10.5	9 取 引 条 件 の 悪 化	0.0	0.0	5.3	5.3
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	0.0	10.5	0.0	10.5	10 事 業 資 金 の 確 保 難	0.0	10.5	10.5	21.1
4 原 材 料 高 及 び 不 足	36.8	15.8	0.0	52.6	11 需 要 の 停 滞	5.3	5.3	10.5	21.1
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	5.3	5.3	10.5	21.1	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人 手 不 足	5.3	0.0	15.8	21.1	13 そ の 他	5.3	0.0	0.0	5.3
7 人 件 費 の 増 加	0.0	21.1	10.5	31.6	無 回 答	5.3	15.8	21.1	—

注) 「全体」= (1位+2位+3位を選んだ回答数) / 全回答数

3、業界内のトピック (調査対象事業所からの意見等)

- ・ 仕入値が上がっており、仕入れ方法の見直しを検討。
 - ・ 原油高に加え補助金の削減、円安による採算悪化。
 - ・ 移転計画があるが建設費用の高騰で踏み切れない。
 - ・ 競合店が出店し、売上への影響が気になる。
- ・ 新製品価格が値上がりしており、利益が上がらず厳しい状態が続く。
 - ・ 最低賃金の上昇による経費増加。
 - ・ 仕入れ価格上昇に伴い小売価格も上昇。物価高を気にしている消費者も多く今後の心配。
 - ・ ケーキ等の嗜好品よりも旅行等のアクティビティにお金が使われている。
- ・ 商品価格の値上げ。
 - ・ 新築物件数減少に伴う売上減少を懸念。

《サービス業》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況 (前年同期と前期との比較)								II 来期の見通し			
	前年同期(令和4年4~6月)と比べた 今期(令和5年4~6月)の状況				前期(令和5年1~3月)と比べた 今期(令和5年4~6月)の状況				今期(令和5年4~6月)と比べた 来期(令和5年7~9月)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	50.0	33.3	16.7	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0	58.3	33.3	8.3	50.0
2 採算	25.0	66.7	8.3	16.7	16.7	50.0	33.3	△ 16.7	50.0	41.7	8.3	41.7
3 仕入単価	66.7	33.3	0.0	66.7	66.7	33.3	0.0	66.7	41.7	58.3	0.0	41.7
4 従業員数	/	/	/	/	25.0	58.3	16.7	8.3	8.3	83.3	8.3	0.0
5 資金繰り	/	/	/	/	16.7	66.7	16.7	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D・I (業況判断指数) とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		16.7	50.0	33.3		-16.7		33.3	41.7		25.0	8.3		16.7

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売上・受注の減少	28.6	21.4	0.0	50.0	8 設備店舗の狭小・老朽化	7.1	0.0	7.1	14.3
2 大企業進出による競争激化	0.0	7.1	7.1	14.3	9 取引条件の悪化	0.0	0.0	0.0	0.0
3 製品・商品単価の下落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事業資金の確保難	14.3	0.0	0.0	14.3
4 原材料高及び不足	14.3	7.1	7.1	28.6	11 需要の停滞	0.0	14.3	7.1	21.4
5 在庫製品・商品の過剰	0.0	7.1	0.0	7.1	12 円相場に伴う経営への影響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人手不足	0.0	0.0	0.0	0.0	13 その他	7.1	0.0	0.0	7.1
7 人件費の増加	7.1	0.0	14.3	21.4	無回答	21.4	42.9	57.1	—

注) 「全体」= (1位+2位+3位を選んだ回答数) / 全回答数

3、業界内のトピック (調査対象事業所からの意見等)

- | | | |
|---|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 鉄関係品の入荷が遅い。 ・ 光熱費の値上がりで大変。 ・ 行動制限がなくなり旅行者が増えた。 ・ コロナ前の来店頻度に戻らない。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍での需要離れが通常化したと感じる。 ・ コロナ融資返済が始まり不安。 ・ ECに売上を奪われているので、ECで購入しづらい商品を扱う努力をしている。 ・ 大手企業進出による価格暴落の可能性。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 仕入れ先選定の必要あり。 |
|---|--|--|

《 飲 食 業 》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期（令和4年4～6月）と比べた 今期（令和5年4～6月）の状況				前期（令和5年1～3月）と比べた 今期（令和5年4～6月）の状況				今期（令和5年4～6月）と比べた 来期（令和5年7～9月）の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	83.3	8.3	8.3	75.0	58.3	25.0	16.7	41.7	41.7	33.3	25.0	16.7
2 採 算	50.0	33.3	16.7	33.3	41.7	33.3	25.0	16.7	25.0	33.3	41.7	△ 16.7
3 仕 入 単 価	100.0	0.0	0.0	100.0	83.3	16.7	0.0	83.3	83.3	16.7	0.0	83.3
4 従 業 員 数	△	△	△	△	20.0	80.0	0.0	20.0	0.0	100.0	0.0	0.0
5 資 金 繰 り	△	△	△	△	25.0	66.7	8.3	16.7	16.7	58.3	25.0	△ 8.3

注) ↑ 増加・上昇・過剰・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・不足・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		45.5	36.4	18.2		27.3		33.3	58.3		8.3	25.0		0.0

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	25.0	0.0	8.3	33.3	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	0.0	0.0	33.3	33.3
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	0.0	0.0	0.0	0.0	9 取 引 条 件 の 悪 化	0.0	0.0	0.0	0.0
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事 業 資 金 の 確 保 難	0.0	8.3	0.0	8.3
4 原 材 料 高 及 び 不 足	50.0	33.3	16.7	100.0	11 需 要 の 停 滞	8.3	25.0	8.3	41.7
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	0.0	8.3	8.3
6 人 手 不 足	16.7	8.3	0.0	25.0	13 そ の 他	0.0	8.3	0.0	8.3
7 人 件 費 の 増 加	0.0	8.3	8.3	16.7	無 回 答	0.0	8.3	16.7	—

注) 「全体」=（1位+2位+3位を選んだ回答数）/全回答数

3、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・ 物価高騰といって何度も値上げはできず、メニュー内容を日々考えている。
 - ・ 仕入れ高騰、人件費増加を考えると再度価格の見直しが必要。
 - ・ コロナで飲みに出る習慣が減少し需要停滞している。
 - ・ 物価高による仕入れ・水道光熱費の上昇分を販売価格に転嫁しきれない。
- ・ 仕入れ・光熱費の値上がり。
 - ・ 人手不足。
 - ・ タクシー不足。